

令和7年度中核機能強化事業第三者評価

実施日：令和8年3月4日(水) 13時から16時

場所：つくも幼児教室

評価者：児童発達支援センター銀河鉄道 園長 船木瑠衣子

出席者：児童発達支援センターつくも幼児教室 管理者 齋藤 正太郎氏

① 幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援・家族支援の提供体制を確保しているか

つくも幼児教室においては、専門的な発達支援及び家族支援の質向上を目的とした職員研修が実施されていることを確認した。

令和7年度は、7月に保護者対応に関する研修(リハビリテーションセンター研修)、8月に音楽療法に関する研修を実施しており、支援プログラムの理解や新任職員の育成にも取り組んでいる。

また、言語発達を含む多様な発達課題に応じた支援を行う体制が整えられていることを確認した。

② 市町村及び地域の関係機関との連携体制を確保しているか

(市町村との定期的な情報共有、地域の協議会への参加等)

自立支援協議会の子ども支援部会において部会長を担うなど、地域の支援体制の中で中心的な役割を果たしていることを確認した。

また、18歳までの支援体制や不登校児童への対応、5歳児健診等の取組を通して、市町村及び関係機関との連携が図られている。

③ 地域の障害児通所支援事業所との連携体制を確保しているか

(定期的な情報共有、研修会の開催等)

地域の障害児通所支援事業所との連携として、5月に勉強会を実施している。

また、地域の事業所と遊びの教材等を持ち寄りながら情報交換を行うなど、実践的な連携が図られていることを確認した。

支援プログラムの内容についても地域で共有されており、地域全体の支援力向上に努めている。

④ インクルージョンの推進体制を確保しているか

(保育所等訪問支援の実施、地域の保育所等への助言援助等の実施等)

保育所等訪問支援を実施しており、令和7年度は4月から2月までの間に189名の支援を行っている。

また、地域の保育所、幼稚園、小学校及び中学校等に対して助言や支援を行い、千葉県の療育支援事業にも関わりながら、地域におけるインクルーシブな支援体制の推進に取り組んでいることを確認した。

⑤ 入口としての相談機能を果たす体制を確保しているか

(障害児相談支援の実施、早期の相談支援の提供等)

外来相談支援として年間262件の相談対応を行っており、職員2名体制で相談支援を実施している。

また、土曜日にはグループ活動を実施しており、約26名が参加するなど、地域の子どもや保護者が相談

や支援につながる入口としての役割を果たしていることを確認した。

⑥ その他事業全般に対する助言等

地域における児童発達支援の拠点として、関係機関との連携や相談支援機能を担いながら事業が実施されていることを確認した。

今後も地域の支援機関との連携をさらに深めながら、地域全体の支援体制の充実に寄与されることを期待する。

令和8年3月10日

記載者名：社会福祉法人開拓

児童発達支援センター 銀河鉄道 船木

園長 船木瑠衣子
26.03.10
瑠衣子